



シクラメンのお手入れ



元気なシクラメンを見つけましょう。

葉組の回数が多い鉢は、光を株元まで当てながら育てているので、葉数が多く株の形がくずれにくい特徴があります。また水切れでしおれかけた時など水を与えれば株が戻りやすくなります。

出来るだけ葉の多いものを！葉1枚に花芽が1つ付きます。葉の数が多く触ってがっしり感のある株を選んでください。

矢祭園芸のシクラメンは、赤土や腐葉土等を使った有機質の用土と、一鉢一鉢用土の乾きをを観察しながら水やりをする手灌水で育てています。



張りのあるつややかな花や花びらが肉厚できれいに反転している花はシクラメン選びの基本ですが、育種や組織培養の技術が進み八重咲きやうつむいた花、グラデーションがかった花色などバラエティな形や色が楽しめるようになりました。

咲いている花の他にツボミがあがって来ますか？また株元の芽が枯れていたりカビがないか見てください。

とてもよい株でも、葉の中心から黄色く変色していたり、元気のない葉がないかどうかチェックしましょう。

ビクトリア「ヴェスタ」



枯れ葉取りで病気予防と次の花を咲かせる花から摘み



枯葉が出できました。株を痛めないよう開けてみると灰色カビで茎元や周りの茎にまで広がっている場合があります。



痛んだ茎や葉は残さないようにきれいに摘み取ります。株の奥のほうはピンセットを使うときれいに採れて便利です。



くるっと巻いた花の茎は実が付いた証です。種を採種する目的以外は新しい花芽が育つ様に早めに元から抜き取ります。



水やりと肥料のタイミング

このシクラメンは赤土、腐葉土、バーク堆肥など有機用土で育てました。有機用土は少量の肥料でも長く生き、水はけが良いなどの特性があります。シクラメンは意外に根はデリケートで、花期は水分を必要としますが受け皿に水がたまらないように注意して用土の表面が乾いたら与えます。また葉の色がさめてきたり花の茎が細くなってきたら、液体肥料や固形肥料を与えます。